

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

236-709

事務事業名	風越登山マラソン大会事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	6	1	11	8	1,100
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	26 スポーツの振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条列等		スポーツ振興法				
		事業期間	S23	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民	住民基本台帳登録者数:人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			107938	107000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	日常的にウォーキング、ランニングをしてもらうきっかけが得られる。大会に参加できる機会が与えられる。	参加者数:人 (特記 17年度は雨天により中止したコースがあった。また中体連と重なり、中学生の参加が減少した。)	18目標	500	最終目標	550	23
			18実績	462	19目標	500	↑
			23目標	550	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	飯田市のシンボル「風越山」を市民にアピールする目的もあり、過酷なマラソン大会として実施している。コースは、白山社・虚空蔵・石灯籠・市内とある。また、虚空蔵山へのウォーキングも実施。実施日は体育の日	52回大会として10月9日実施。参加者の増加を図るため、広報活動に力を入れていく。各種の行事が集中する時期でもあるため、大会の趣旨について理解をしていただき、参加者の増加を図る。選手・ボランティアの増加を図り実施する。今回は高校生の参加により、アンカー体制の強化が行えた。	大会参加者数:人	462
		53回大会として10月に実施。参加者の増加を図るため、広報活動に力を入れていく。各種の行事が集中する時期でもあるため、大会の趣旨について理解をしていただき、参加者の増加を図る。選手・ボランティアの増加を図り実施する。大会運営・コース標示等研究し、より良い大会を目指す。	大会参加者数:人	500

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,200	1,100
	事業費計(A)	1,200	1,100
人件費	正規職員所要時間	18年度 450	19年度 450
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,609	1,609
	トータルコストA+B	2,809	2,709

特定財源内訳や補足事項	体力づくり補助金(H15年度のみ)
-------------	-------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ。競技力が向上する。	日常的にウォーキングやスポーツに取り組んでいる市民(成人)の割合:%	現状値	35	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>飯田市らしいマラソン大会として「風越山」を目指して走る大会を昭和23年より開始した。一度山道で危険なために中止し、ロードレースを行ったが、どこにでもある大会という理由で見直し平成7年再開となった。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>参加者数は500名を境にしてほぼ横ばい。県外からの参加者も増加していないし、固定化している。教育委員会の運営主体から、実行委員会主体の運営に変えてきている。全国的ランニング専門誌へも紹介されるなど、知名度もアップしつつある。享保会、風越山を愛する会、安協、スポーツ団体等々のボランティア協力により実施できている面もある。AEDの導入など万一の場合に備えた大会に育っている。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>毎年の反省会で万一の事故への対応が不安との意見がある。体協加盟スポーツ団体の動員が大変との意見がある。50回を1つの区切として実施してきたが、実行委員会では今後続けていくべき事業との意見であり継続している。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 参加するコースに幅があり参加しやすく、個々の目標を達成することにより結果に結びつく。</p>	有効性評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由) 時期的に早めの対応をしていく。(PRを含めて) 財政的には協賛者の協力を願う。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 標高差が激しく、参加者が限られてくるため。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 飯田市のマラソン大会がなくなる。スポーツイベントとしては少ない費用で開催でき、県内外からも参加者がある。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 大会の目的が限定されているため。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) 平地を使用したマラソン大会は行われているが、飯田市のシンボル風越山を目指す大会は行われていない。また山岳登山マラソンとして全国に知られている。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 飯田のシンボル「風越山」へ関わるイベントが少なくなる。</p>		<p>効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 安全性等の問題を考えてときこれ以上の事業費等の削減は難しい。</p>
			公平性評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由) 登山マラソン参加費3,000円(大人)～500円(小学生)まで参加者全員に負担を願っている。50回大会実施時に参加費の見直し(上昇)を行い現在に至る。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>より安全な大会運営をするべく、関係団体と競技を行い運営していく。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>主催者として活動いただいている団体との調整</p>
--	---

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	